

# 教育センターだより

## 令和4年度 夏季研修会を終えて

南砺市教育センター 所長 山田 由紀子



教育センター事業の天王山と呼ばれる夏季研修会が終わりました。おかげさまで、砺波地区の教職員約230名の方に著名な講師による研修を提供することができました。(研修会の様子については、次ページからの「夏季研修会より」やHPをご参照ください)

今年の夏季研修会でお世話になった講師の方は11名です。どの方とも親しくお話させていただく機会があり、その生き方や考え方、情熱にとっても感銘を受けました。例えば資質能力向上研修会でお世話になった大小原利信先生は、以前はある会社の組合委員長として周りから信頼され、活躍しておられた方です。その後、会社の方針でリストラを進めなくてはいけなくなったときに、会社から頼まれて先頭に立ってリストラを断行され、終わったときに自らも会社を辞められたそうです。そのときのつらい経験から、NPO法人日本ゲートキーパー協会を立ち上げられました。特別支援教育研修会でお世話になった河野俊寛先生は、石川県の学校現場で長く教育相談に携わってこられた方です。悩みをかかえる子供や保護者の声に耳を傾け、支援について考えていく中で「読み書き障害」の研究に行き着いたそうです。「読み書き障害」の子供が高校受験で不利益をこうむらないために、代理人が文章を読み上げる方法を申請し、合格に結び付けるなど、理論を実践に生かして活躍しておられます。

夏季研修会に参加された先生方と同様に、私にとっても、このような一流の講師の方に出会えたことが何よりも財産になりました。講演内容はもちろんですが、講師の先生方の積極的な生き方をぜひ取り入れていきたいと感じるよい機会になりました。

さて、現在、砺波、小矢部、南砺の三つの教育センターでは、来年度の夏季研修会について協力して計画を立てています。研修後の振り返りでいただいた参加者の声も参考に、よい出会いや学びにつながる講師の方を選定し、調整を図っていきます。来年度企画してほしい研修会や呼んでほしい講師の方がおられましたら、ぜひ教育センターにご連絡ください。皆様のニーズに合った夏季研修会になるよう尽力していきますので、よろしくお祈りします。

## ●新スタッフ紹介

### 適応指導教室「いおう教室」

- 場 所 : 福光青少年センター 3階  
南砺市福光 1137-2
- 電話・FAX : 0763-52-5593
- 対 象 : 南砺市内の小・中学生
- 教室開室 : 月曜日～金曜日 午前9時～午後3時
- 主な活動 : 学習、運動、読書、ボードゲーム等  
※ 料理教室やプログラミング教室、校外学習  
など、みんなで行う活動もあります。

新しく仲間に加わりました。いつでも  
いおう教室に見学に来てくださいね



◇ 指導員 清玄寺 真佐子 先生  
※ 9月から勤務となりました。

## 市教育センター 準協業研修 プログラミング教育研修会

- 日時 令和4年8月5日（金） 13:30～16:30
- 会場 南砺市地域包括ケアセンター
- 講師 富山県立大学 准教授 岩本 健嗣 先生
- 参加者 16名 砺波地区小・中・義務教育学校教職員
- 内容 「未来のDX人材像とプログラミング教育の実践」
  - ・将来、子供たちがプログラミングを使った職種につかなくても、プログラミング的思考を身に付けることは、社会に役立つ。
  - ・今、小学校で取り組まれている「スクラッチ」と「マイクロビット」のプログラミング体験をする。



### <参加者の感想より>

- ・岩本先生が求める「高校までに必要なプログラミングのレベル」が分かったので、そのゴールに向けて少しずつ今回の研修で学んだ実践等を参考に子供たちに指導していきたいと思いました。
- ・低学年担当なので、「順次実行」「繰り返し」「条件分岐」等の用語をわかりやすく説明し、プログラミングに触れる機会を多く設けていきたいです。また、プログラミングは楽しいなと子供たちが思えるように働きかけていきたいです。

## 市教育センター 協業研修 特別支援教育研修会

- 日時 令和4年8月22日（月） 13:30～16:30
- 会場 南砺市地域包括ケアセンター
- 講師 北陸大学 教授 河野 俊寛 先生
- 参加者 37名 砺波地区小・中・義務教育学校教職員
- 内容 「発達障害の理解と支援」
  - ・様々な発達障害の内容や特徴、発達障害をもつ子供への支援の方法についての紹介
  - ・ユニバーサルデザインの視点からの学級環境づくりや忘れ物対策の方法、相手の立場に立ち前向きな気持ちにする言葉かけ「リフレーミング」の方法、「ブロークン・レコード」の伝え方



### <参加者の感想より>

- ・担当している通級指導教室での指導や担任・保護者との相談等において「合理的配慮」の考え方を生かし、よりよい手立てを施すことができるようにしたい。「ブロークン・レコード」の伝え方について、日常づかいができるよう心掛けたい。
- ・発達障害について、定義付けや特性を分かりやすく話していただいたので、学校の子供のことをイメージしながら聞けた。様々な障害のある子供を何とかしようではなく、「環境を変える」ということを意識して、接し方や教え方を工夫して、本質的な部分でスタートをそろえられないかを考えて合理的配慮を行っていきたい。

## 市教育センター研修 ふるさと学習研修会

- 日 時 令和4年8月8日（月） 13:15～16:30
- 場 所 南砺市平・上平地域
- 講 師 五箇山合掌の里 施設長 西 敬一 先生
- 参加者 17名 市内小・中・義務教育学校教職員
- 内 容 和紙すき体験、菅沼合掌造り集落の見学
  - ・五箇山和紙の里での和紙すき体験。和紙の原料について学習する。
  - ・菅沼合掌造り集落の見学。合掌造り家屋の構造や、実際の生活の様子、塩硝づくりと蚕のつながり、五箇山の歴史について学ぶ。



### <参加者の感想より>

- ・合掌造り集落を実際に見たり、住んでいた方のお話を聞いたりして、よりリアルに合掌造りを感じることができました。また、和紙すき体験を行うことで、和紙の繊細さや美しさを実感でき、南砺市の伝統のよさを再発見しました。
- ・五箇山の歴史や産業、合掌造りの建築様式等、初めて知ることがとても多く勉強になりました。和紙作り体験は、伝統工芸について学習する4年生にぴったりの活動だと思いました。茅野場の維持・管理の大変さ、屋根の葺き替え費用の1割負担、後継者問題、観光地としてどう取り組むかなど、現在抱える課題について子供たちと総合的な学習等で考えてみたいと思いました。

## 市教育センター研修 教育講演会代替え研修

- 期 間 令和4年8月3日（水）  
～ 令和4年8月31日（水）
- 場 所 各学校で決める
- 講 師 ナラティブ・コミュニケーション教育研究所 所長  
別府大学 客員教授 佐藤 敬子 先生
- 参加者 市内小・中・義務教育学校全教職員
- 内 容
  - ・動画を使っでの研修
    - 「コーチングのスキルと活用Ⅲ ～不登校解決のためのリソースを探す～」
    - 「コーチングのスキルと活用Ⅳ ～円滑な保護者対応に生かす～」
  - ・来年度の教育講演会で講師として来県していただく佐藤先生の動画を使っでの研修を各学校で行っていただいた。研修日や研修の方法、研修場所等も各学校裁量で計画していただいたので、各学校の実態に合った無理のない研修となった。

目次
1. 保護者を知る
(1) 保護者の背景を知る
(2) ミラー効果とペーシング
(3) 7:3で「きく」
2. 日常的に良好な関係を築く
(1) 教師と保護者は対等なパートナー
(2) “一緒に”のスタンスで勇気づける
(3) コンプリメントを心がける
(4) 心理的事実の受容と客観的事実の吟味
3. コミュニケーションの基本



### <参加者の感想より>

- ・不登校は社会的自立を目指してプラス思考で対応すること、「GROWモデル」の手立てを使ってチームで生徒に寄り添うことが大切だと改めて感じた。
- ・生徒指導の面でも保護者対応の面でも相手に寄り添って丁寧に「聴く」ということを心がけたい。
- ・保護者として母親を想定した話が多かったように思う。父親に主体的に関わってもらう方法を知りたい。



## ●第18回南砺市小・中学生科学展覧会 開催



- 会場 いのくち椿館
- 期間 令和4年9月10日（土）～11日（日）
- 出品数 小学校、義務教育学校前期課程 46点（低学年9点、中学年20点、高学年17点）  
中学校、義務教育学校後期課程 24点 計70点

今年度は、いのくち椿館を会場に、各学校から選出された70作品から選ばれた優秀賞10点、優良賞14点の24点の科学作品を展示しました。夏休みが短い学校もありながら、研究の独創性、追究への意欲、追究過程、記録の考察やまとめる表現力等、すばらしい作品が揃いました。また、各校より出品された児童生徒の全作品を教育センターのホームページ上で公開させていただきました。

審査の結果、優秀賞に選ばれた10点の内5点が、10月14日(金)～17日(月)に富山市科学博物館で行われる第81回富山県科学展覧会に出品されます。



< 表彰式の様子 >



< 作品展示の様子 >

## ●NYT道場（南砺ヤングティーチャー）開講

- 会場 南砺市役所、各学校 オンライン会議
- 日時 令和4年9月22日（木）17:30～18:00
- 参加者 市内保・小・中・義務教育学校  
1～6年目の先生方 約50名

オンラインにて開講式を行いました。松本教育長から激励の言葉をいただき、高口委員長からは「南砺市の若者の横のつながりを大切にしたい」とあいさつがありました。また、教育センターから「全校企画」の取組の紹介があり、NYT道場の参加者全員で「モザイク壁画に挑戦」する企画の提案がありました。

この後、スポーツレクリエーション等の仲間同士のコミュニケーションがひろがる企画を考えていきます。2回目は11月、3回目は3学期の予定です。

